



2025年2月14日

各位

会社名 ヤマシンプィルタ株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 山崎 敦彦  
(コード番号: 6240 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役専務執行役員 井岡 周久  
(TEL. 045-680-1671)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年2月14日開催の取締役会において、2024年11月5日に開示した2025年3月期通期(2024年4月1日～2025年3月31日)の業績予想の修正を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 1. 2025年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	19,300	2,220	2,280	1,490	20.98円
今回修正予想 (B)	19,780	2,454	2,498	1,511	21.28円
増減額 (B-A)	480	234	218	21	—
増減率 (%)	2.5%	10.5%	9.6%	1.4%	—
(参考) 前期実績 (2024年3月期)	18,024	1,411	1,415	786	11.01円

(注) 2025年3月期為替レート  
米ドル 150円 (前回見通し公表時 145円)  
ユーロ 162円 (前回見通し公表時 155円)

#### 2. 業績予想の修正理由

##### ① 建機用フィルタ事業

前回通期の業績見通しを公表した2024年11月5日時点と比較し、当第3四半期連結累計期間において、新車需要は前年度を下回る見通しである一方、交換需要の増加により補給品売上高の大幅な増加が見込まれることから、売上高は前回公表値を上回る見通しであります。

利益面では、収益性の高い補給品の販売数量の増加や販売価格の改善等の効果により、営業利益は前回公表値を大幅に上回る見通しであります。

一方、当社グループは、経営の効率化と固定費の削減を目的とした事業構造改革に取り組んでおり、その一環として、当第3四半期連結累計期間において中国、欧州における海外子会社の再編に係る費用198百万円を事業構造改革費用として特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期

純利益は前回公表値と同水準となる見通しです。

② エアフィルタ事業

エアフィルタ事業については、主力製品であるビル空調用フィルタの交換需要の減少により、減収減益となる見通しです。

以上を踏まえ、通期業績予想の修正を行います。

3. 【ご参考】事業セグメント別の見通し（2024年4月1日～2025年3月31日）

（単位：百万円）

セグメント		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)
売上高	内訳			
	合計	19,300	19,780	480
	建機用フィルタ事業	16,500	17,200	700
	エアフィルタ事業	2,800	2,580	△220
営業利益	内訳			
	合計	2,220	2,454	234
	建機用フィルタ事業	2,100	2,400	300
	エアフィルタ事業	120	54	△66

以上